

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆自民・維新連立「政治の安定化に向かう契機と評価」 経団連会長

・経団連の筒井義信会長は記者会見で、自民党と日本維新の会が連立政権を樹立する見通しとなったことを「政治の安定化に向かう契機になると評価したい」と述べた。両党に共通する政策も多いと言及し「政治の空白から脱却し、迅速で着実な政治遂行を期待したい」と注文した。

◆日経平均株価終値4万9185円、最高値更新 高市トレード再加速

・20日の東京株式市場で日経平均株価が急騰し、終値は前週末比1603円35銭(3.4%)高の4万9185円50銭と最高値を更新。日本維新の会の吉村洋文代表は同日、自民党と連立政権の樹立で合意する方針を明らかにし、今日にも実施される首相指名選挙で自民党の高市早苗総裁が首相に選ばれるのが確実な情勢となった。

◆トラック運賃、4年ぶり前年割れ スポットの荷動き鈍く

・企業間の荷物輸送に使う貸し切り(チャーター)トラックの9月のスポット(随時契約)運賃が約4年ぶりに前年同月の水準を下回った。運転手の残業規制を強化する「2024年問題」を受け上昇傾向が続いてきたが、荷動きが停滞している影響で歯止めがかかってきた。需要不振が長引けば長期契約運賃の交渉にも影響が出てきそう。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆9月ハウスメーカー受注、増加は5社 大和ハウス、ヤマダ2ケタ増

・ハウスメーカー各社が発表した、9月の戸建て注文住宅の受注速報値によると、前年同月比で受注が増加したのは5社で、前月から1社増えた。ヤマダホームズは前月の減少から一転し、21.8%増と大幅な伸びを示した。大和ハウス工業も2ケタ増。受注が減少したのは7社。ミサワホームは9カ月連続、パナソニックホームズは10カ月連続の減少。

◆積水化学など、ペロブスカイト太陽電池の設置工法を共同開発

・積水化学工業やNTTデータなど4社は薄くて曲がる「ペロブスカイト太陽電池」について、ビルなどに設置する工法を共同で開発すると発表。外壁に取り付ける金具を軽量化したり、デザイン性を高めたりできるか検証。積水化学は25年にペロブスカイト太陽電池を商用化し27年度には量産を始める計画。設置手法についても研究を進め普及につなげる。

◆建設業の女性比率19.4%、男性4万人減で上昇—24年厚労省調査

・厚生労働省がこのほど公表した2024年度の「働く女性の実情」によると、同年度の女性の労働力人口は3157万人で、前年度から約33万人増加。男性は3800万人で約1万人減少。労働力人口総数に占める女性の割合は45.4%で、前年から0.3ポイント上昇。建設業で働く女性は78万人で前年比では横ばい。構成比は19.4%、前年度比0.2ポイント増加。

《 注目商品 》

■パーパス、ふろ給湯器スリムタイプを刷新 GX-HFLWSシリーズ

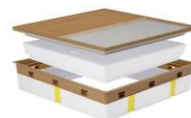
・ふろ給湯器エコジョーズのスリムタイプを「FLashシリーズ」へフルモデルチェンジ。現行品から本体寸法の高さを140mm減とコンパクトにし、重量を現行品の30kgから23kgに軽量化。本体色はメタリックのフラッシュゴールドを採用しデザインを刷新。

The
New **Flash**
ふろ給湯器エコジョーズスリム
フルモデルチェンジ



■城東テクノ、簡単施工の高気密型床下点検口

・簡単施工で、熱貫流0.26W/(㎡・K)の断熱性を実現した樹脂一体成形の高気密型床下点検口。蓋と枠のシールパッキンと同社独自のビスを打ち込むと枠全体をフロア面に押さえ込む機能を搭載する「スライドコア方式」により高い気密性を発揮。



■DAIKEN、取付け簡単な音響調整部材3種

・中～高音域の幅広い音域に対応し、フックにかけるだけで簡単に取付けできる後付けタイプの防音室向け壁面音響調整部材。「サウンドフィュー」はシンプルな正方形で、中～高音域を吸音し、フラッターエコーの改善に適した製品。

